3　人吉市の連結財務書類（令和5年度）　概要版

連結対象団体をひとつの行政サービス実施体とみなして、人吉市というグループ全体の資産や負債のストック情報を網羅した財務書類が、「連結貸借対照表」です。
市民1人当たりの資産は、279万1千円です。
市民1人当たりの負債は、160万5千円です。
市全体に限らず連結対象団体・法人があることを表しています。
（R6.3.31住民基本台帳人口：29,824人）

連結貸借対照表

令和6年3月31日現在

借方		貸方	
資産	**832億5千万円**	**負債**	**478億6千万円**
【資産内訳】		【負債内訳】	
公共資産	695億3千万円	固定負債	317億円
道路、下水道、ごみ処理施設など		1年を超えて支払う必要がある債務	
投資等	42億5千万円	流動負債	161億6千万円
基金、出資金、長期延滞債権など		1年以内に支払う必要がある債務	
流動資産	94億5千万円	**純資産**	**353億9千万円**
現金・預金、財政調整基金、市税等未収金など		現世代が既に負担して、支払いが済んでいる正味の資産です。	
【流動資産おもな内訳】			
資金残高	38億5千万円		
未収金	13億2千万円		

連結資金収支計算書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

期首（4年度末）資金残高	**39億8千万円**
当期収支	**△1億2千万円**
【内訳】	
業務活動収支	41億6千万円
投資活動収支	△54億8千万円
財務活動収支	12億万円
期末（5年度末）資金残高	**38億6千万円**

期首に比べ1億2千万円減少しています。市全体では5億1千万円の増加でしたので、連結の対象となる事業では6億3千万円の資金が減少していることになります。

連結純資産変動計算書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

期首（4年度末）純資産残高	**331億4千万円**
当期変動高	**22億5千万円**
【内訳】	
純行政コスト	△284億8千万円
財源（税収等・国県等補助金）	327億円
その他の変動	△19億7千万円
期末（5年度末）純資産残高	**353億9千万円**

連結ベースでの市の純資産（正味の資産）が、どのように増減したかを示すのが「連結純資産変動計算書」です。
期首に比べ、22億5千万円の増加となっています。 グループが保有する資産の中には、上下水道施設やゴミ処理施設といった将来にわたりサービスを供給するものが多数ありますので、現役世代と将来世代のバランスを見るうえで役に立つ財務書類といえます。

連結行政コスト計算書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

経常行政コスト・・・①	**296億6千万円**
【内訳】	
人にかかるコスト 職員の給与・退職手当など	40億1千万円
物にかかるコスト 物品購入、光熱水費、施設の修繕費、減価償却費等	57億円
移転支出的なコスト 国民健康保険事業や介護保険事業などでの社会保障給付、各種団体への補助金、	185億7千万円
その他のコスト 地方債の利子など	13億8千万円
経常収益・・・② 使用料・手数料などに加え、国民健康保険料、介護保険料なども含まれます。	**20億3千万円**
純経常行政コスト（①-②）・・・A	**276億3千万円**
臨時損益等・・・B 災害復旧事業費や資産売却損益・資産売却益など	**8億5千万円**
純行政コスト（A+B）	**284億8千万円**

「行政コスト計算書」の考え方を連結対象団体にも適用し、ひとつの行政サービス実施体とみなして作成したのが「連結行政コスト計算書」です。
移転支出的なコストは広域で行う後期高齢者医療の額が大きいため、全体的にその割合が高くなっています。
1年間の市民1人当たりコスト総額は99万4千円となっています。

連結財務書類

全体財務書類

一般会計等財務書類

一般会計
人吉球磨地域交通体系整備特別会計
公共用地先行取得事業特別会計

国民健康保険事業特別会計
公共下水道事業特別会計
工業用地造成事業特別会計
介護保険特別会計
後期高齢者医療特別会計
水道事業特別会計

人吉球磨広域行政組合（普通会計）
人吉下球磨消防組合
熊本県後期高齢者医療広域連合

球磨川くだり株式会社
くま川鉄道株式会社
球磨焼酎リサイクリーン株式会社

連結に際し、普通会計から連結対象の会計・法人への出資金・繰出金等や連結会計間でのサービスの提供／供給などは、連結グループ内での内部取引として相殺消去しています。